3D0789600C

取扱説明書

AD-800

CDプレーヤー /カセットデッキ

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに
大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

目　次

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。**
電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

次のページに続きます

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	ヘッドホンを使うときは、電源を入れる前に音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

注意	乾電池に関する注意
禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

注意	電池に関する注意
強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 向きを間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

本機でできること

再 生

CD/CD-R/CD-RW
(オーディオCD/MP3ディスク)

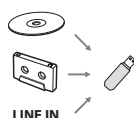
➡「ディスクを聴くには」19ページ

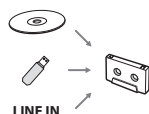
カセットテープ

➡「カセットテープを聴くには」
26ページ

USBメモリー (USBフラッシュメモリー)に保存されたMP3ファイル

➡「USBメモリーを聴くには」
28ページ

録 音

ディスクやカセットテープ、外部接続した機器からUSBメモリーに録音

➡「USBメモリーに録音するには」30ページ

ディスクやUSBメモリー、外部接続した機器からカセットテープに録音

➡「カセットテープに録音するには」34ページ

タイマー

市販のタイマーが必要です。

➡「タイマー再生」36ページ

➡「タイマー録音」36ページ

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

リモコン(RC-1257)×1

リモコン用乾電池(単4)×2

RCAオーディオケーブル×2

取扱説明書(本書)×1

簡単録音ガイド×1

保証書×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。

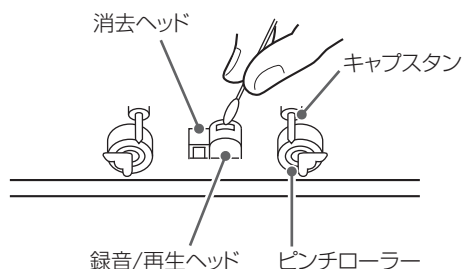
ディスクについて

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

カセットデッキのクリーニングと消磁

クリーニング
ヘッド部が汚れると、録音・再生の音質が悪化したり、音飛びの原因になります。また、テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。
約10時間の使用を目安に、市販のクリーニング液を綿棒に含ませて、ヘッドとピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。

消磁
ヘッド部が磁気を帯びると、雑音が増えたり高音が出にくくなります。このような症状が出たときは、市販のヘッドイレーサーで消磁してください。

- ヘッドのクリーニング液が乾いてから、カセットテープをセットしてください。

結露現象について
本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1〜2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

本機で再生できるディスク

コンパクト ディスク デジタル オーディオ
「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのあるCD(12cm/8cm)

- ロゴマークは、ディスクレーベルやパッケージに表示してあります。

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。
または、MP3ファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

本機は上記のディスクをアダプターなしで再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- ビデオCD、CD-ROMなどはディスクを読み込むことはできますが、再生しても音が出ません。
- スーパーオーディオCDは本機で読込み・再生ができません。
- DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-ROMなどは本機で読込み・再生ができません。

⚠ **DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-ROMなどをディスクトレーに入れると、ディスクを読み込もうとして高速回転します。万が一これらのディスクを入れてしまった場合は、ディスクを傷つけるおそれがありますので、必ず回転が終わってから取り出してください。(「READING」の表示中には取り出さないでください)**

- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

次のページに続きます ➡

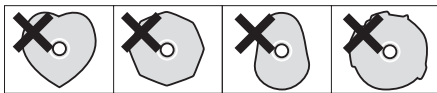
ディスクについて（続き）

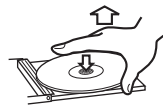
CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)とMP3フォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　持ち方

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

USBメモリーについて

⚠ **注 意**

USBメモリーの読込み、再生、録音、またはファイルの消去などのアクセス中には、絶対に電源をオフにしたり、USBメモリーを抜いたりしないでください。本機やUSBメモリーの故障の原因になります。

本機で使用できるUSBメモリー

- USBフラッシュメモリーのみ使用できます。
- USB端子で充電するUSBフラッシュメモリープレーヤーでは、使用できないものがあります。
- ハードディスクドライブ(HDD)、CD/DVDドライブなどのUSB接続機器は使用できません。
- 本機ではUSBメモリーに記録されているファイルをコピー、または移動することはできません。
- 再生可能フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32
- NTFS、HFS、またはHFS+フォーマットは使用できません。
- 再生可能な最大フォルダー数：255
- 再生/録音可能な最大ファイル数：999
- USBメモリーの状態によっては、ファイルが再生できなかったり、音が途切れることがあります。

USBメモリーへの録音

本機では、CDやカセットテープ、または接続した外部入力機器(チューナーなど)の音声をMP3形式にして、USBメモリーに録音することができます。
録音方法は、30ページをご覧ください。

MP3について

本機は、CD-R/CD-RWやUSBメモリーに記録されたMP3ファイルを再生することができます。

- 本機で再生できるMP3ファイルは、モノラルまたはステレオのMPEG-1 Audio Layer 3フォーマットで、サンプリングレートが16kHzから48kHz、ビットレートが320kbps以下のファイルとなります。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- 本機で録音されたMP3ファイルのフォーマットについては、30ページをご覧ください。

ファイル名の表示について

本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。

- ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生はできますが、ディスプレーに正しく表示できません。その場合、「****」と表示されます。

パソコンなどを使って MP3ファイルを作成する際のご注意

- ファイル名には必ず拡張子を付けてください。MP3ファイルの認識はファイル拡張子「.mp3」で行います。
- クローズセッション(ディスクの作成を完了)してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。
- 作成する際に使用するソフトウェアのマニュアルをよくお読みください。

本機で正常に再生できない場合

- 拡張子のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。
- 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
- ファイル数が999、フォルダー数が255を超えて記録してある場合、1000番目以降のファイル、256番目以降のフォルダーは本機で再生できません。
- ディスクやUSBメモリーの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。

カセットテープについて

本機で使用できるカセットテープ

本機で再生できるカセットテープ

ノーマル(タイプⅠ)　クローム(タイプⅡ)
メタル(タイプⅣ)

本機で録音できるカセットテープ

ノーマル(タイプⅠ)　クローム(タイプⅡ)

使用上の注意

- カセットを開けたり、テープを引き出したりしないでください。
- テープに直接手を触れないでください。

保存上の注意

- 磁石や磁気を帯びたものに近付けないでください。雑音が入ったり、録音内容が消えてしまうことがあります。
- ホコリの多い場所に放置しないでください。
- 高温・多湿の場所での保存は避けてください。

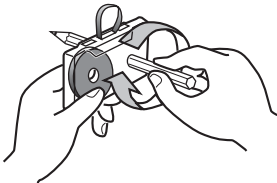
使用を避けたいカセットテープ

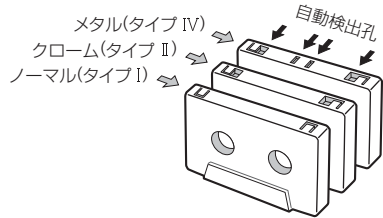
次のようなカセットテープを使用すると、正常な動作をしないことがあります。またテープが巻き込まれて思わぬトラブルを起こすこともありますので、ご注意ください。

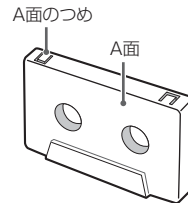
変形したカセットテープなど
カセットが変形していたり、テープの走行が不安定なもの。早送り、巻き戻し中に異音を生ずるもの。

長時間テープ
90分以上のテープは大変薄くて伸びやすいため、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。なるべくご使用にならないでください。

テープの「たるみ」

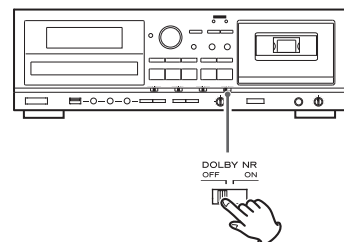
テープがたるんでいると、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻き取ってから使用してください。

自動検出孔について

本機のカセットデッキはカセットテープの自動検出孔によってテープの種類を自動検出します。自動検出孔のあるカセットテープをお使いください。

誤消去を防止するには

カセットテープには、大切な録音内容を誤って消さないように、誤消去防止用のつめがついています。つめはカセットのA面、B面用にそれぞれあります。
ドライバーの先などで折って取り除くと、誤消去防止装置が働いて録音ができなくなります。

- 再度、録音をしたいときは、つめを取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。その際にテープ自動検出孔はふさがないようご注意ください。

ドルビーNR(ノイズリダクション)システムについて

ドルビーNRシステムは、再生/録音時に発生する“シー”というテープノイズを低減します。本機はBタイプのドルビーNRシステムを内蔵しています。

DOLBY(ドルビー) NRスイッチで、ドルビーNRの切換えができます。

- ドルビーNRシステムは録音→再生の両方で効果を発揮しますので、再生するときは録音したときと同じタイプを選んでください。

接　続

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

A アナログ音声入出力端子 (AUX IN/OUT)

アナログの音声を入力します。付属のRCAオーディオケーブルを使って接続してください。

白のピンプラグ ➡ 白の(L)端子
赤のピンプラグ ➡ 赤の(R)端子

B 電源コード

全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注意

交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

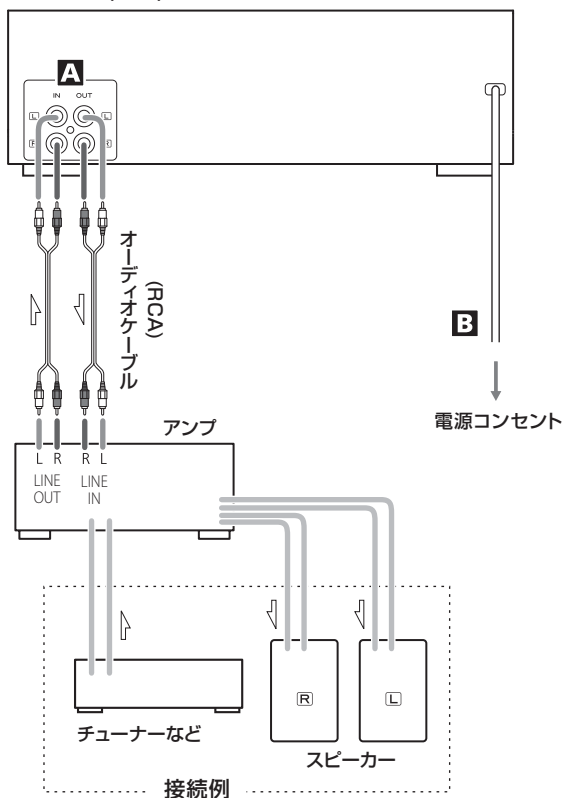
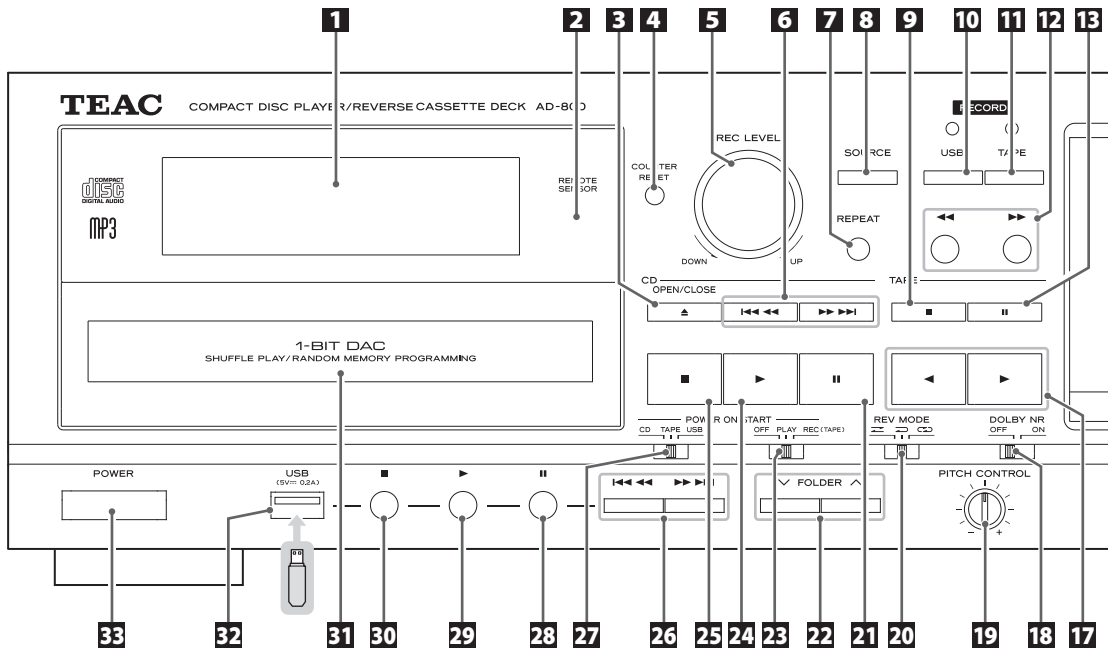
電源オン/オフの注意

AD-800にアンプを接続した際は、必ず以下の順番で電源のオン/オフを行ってください。

電源オン時

1. AD-800
2. アンプ

電源オフ時

1. アンプ
2. AD-800

各部の名前とはたらき(本体)

1 ディスプレー
曲数や再生時間などが表示されます。(16ページ)

2 リモコン受光部
リモコンを使用するときは、リモコンの先端をここに向けて操作してください。

3 CD 開閉ボタン(⏏)
ディスクトレーを開閉します。

4 TAPE カウンターリセットボタン(COUNTER RESET)
ディスプレーのテープカウンターを「0000」にリセットします。

5 録音レベル調節つまみ(REC LEVEL)
録音レベルの調節に使います。

6 CD スキップ(⏮/⏭)/サーチ(◀◀/▶▶)ボタン
前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り/早戻しができます。

7 CD USB リピートボタン(REPEAT)
リピート再生に使います。(22ページ)

8 入力切替ボタン(SOURCE)
このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。(18ページ)

9 TAPE 停止ボタン(■)
カセットテープの再生を停止します。
また、カセットテープへの録音を停止するのに使います。

10 USB録音ボタン(RECORD USB)
USBメモリーに録音をするときに使います。一度押すと録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始します。(31ページ)
録音中に押すと、そこで録音ファイルが分割されます。(32ページ)

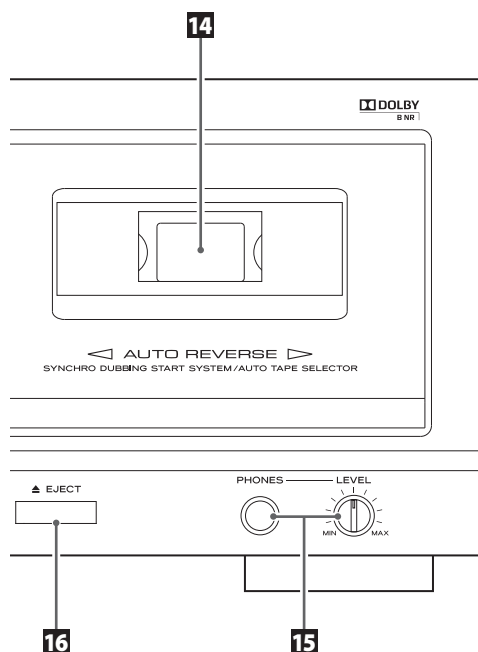
11 テープ録音ボタン(RECORD TAPE)
カセットテープに録音をするときに使います。一度押すと録音録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始します。(34ページ)

12 TAPE 早送り/巻戻しボタン(◀◀/▶▶)
カセットテープの早送り/巻戻しに使います。

13 TAPE 一時停止ボタン(❚❚)
カセットテープの再生/録音を一時停止します。
もう一度押すと再生/録音を再開します。

14 TAPE カセットホルダー

15 ヘッドフォン端子(PHONES)/レベルつまみ (LEVEL)
ヘッドホンをお使いになるときは、ヘッドホンプラグを端子に差し込み、レベルつまみで適切な音量にします。

⚠ 注 意
ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン/オフ、またはヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。ヘッドホンから大きな音が発生することがあります。

16 TAPE 開ボタン(▲ EJECT)
カセットテープが停止している時に、カセットホルダーを開くのに使います。

17 TAPE 再生ボタン(フォワード▶/リバース◀)
カセットテープを再生します。
カセットテープの再生/録音の一時停止状態のときに押すと、再生/録音を再開します。

18 TAPE DOLBY(ドルビー) NRスイッチ
ドルビー NRのオン/オフの切換えをします。(10、27ページ)

19 TAPE ピッチコントロールつまみ(PITCH CONTROL)
再生の速度を変えるのに使います。(28ページ)

20 TAPE リバースモードスイッチ(REV MODE)
リバースモードを切り換えるのに使います。(27ページ)

21 CD 一時停止ボタン(❚❚)
ディスクの再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

22 CD USB フォルダーボタン(∨ FOLDER ∧)
MP3のフォルダーを選ぶのに使います。(21、30ページ)

23 タイマー設定スイッチ
(POWER ON START OFF-PLAY-REC (TAPE))
このスイッチで、タイマーの設定(タイマー再生、タイマー録音、またはタイマーオフ)を選びます。タイマー再生/録音をするには、市販のオーディオタイマーを本機に接続してください。(37ページ)

24 CD 再生ボタン(▶)
ディスクを再生します。

25 CD 停止ボタン(■)
ディスクの再生を停止します。

26 USB スキップ(|◀◀ / ▶▶|)/サーチ(◀◀ / ▶▶)ボタン
前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り/早戻しができます。

27 ソース設定スイッチ
(POWER ON START CD-TAPE-USB)
電源をオンにしたときは、このスイッチで設定してあるソースで起動します。
このスイッチで、タイマー再生/録音するものを選びます。(タイマー録音では、カセットテープにのみ録音できます)
タイマー再生/録音をするには、市販のオーディオタイマーを本機に接続してください。(37ページ)

28 USB 一時停止ボタン(❚❚)
USBメモリーの再生/録音を一時停止します。もう一度押すと再生/録音を再開します。

29 USB 再生ボタン(▶)
USBメモリーを再生します。
USBの録音待機状態のときに押すと、録音を開始します。

30 USB 停止ボタン(■)
USBメモリーの再生を停止します。
また、USBメモリーへの録音を停止するのに使います。

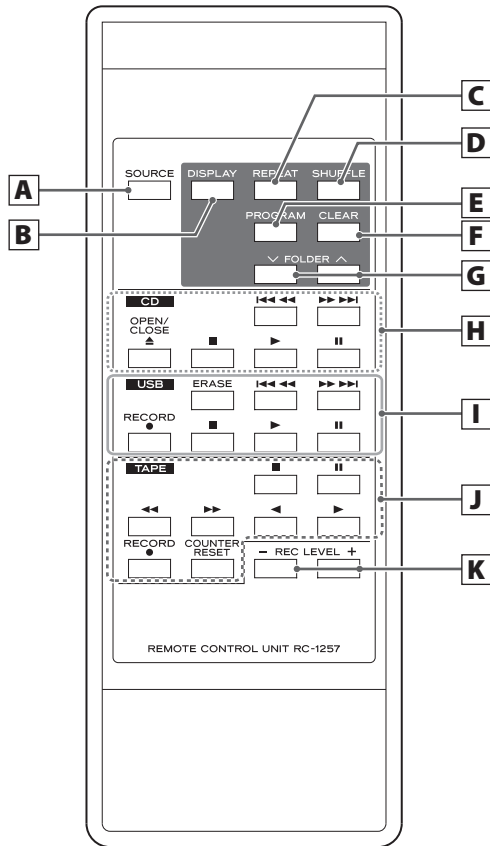
31 CD ディスクトレー

32 USB USBポート
USBメモリーを接続します。

33 電源ボタン(POWER)
電源のオン/オフを切り換えます。

⚠ 注 意

USBメモリーのアクセス中(読込み、再生、録音、またはファイルの消去中など)には、絶対に電源をオフにしたり、USBメモリーを抜いたりしないでください。本機やUSBメモリーの故障の原因になります。

各部の名前とはたらき(リモコン)

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

A 入力切替ボタン(SOURCE)

このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。(18ページ)

B CD USB ディスプレーボタン(DISPLAY)

ディスプレーに表示される情報を切り換えます。(16ページ)

C CD USB リピートボタン(REPEAT)

リピート再生に使います。(22ページ)

D CD USB シャッフルボタン(SHUFFLE)

シャッフル再生に使います。(21ページ)

E CD USB プログラムボタン(PROGRAM)

プログラム再生に使います。(23ページ)

F CD USB クリアボタン(CLEAR)

プログラムを消去するのに使います。(25ページ)

G CD USB フォルダーボタン(∨ FOLDER ∧)

MP3のフォルダーを選ぶのに使います。(21、30ページ)

H CD

スキップ(⏮ / ⏭)/サーチ(◀◀ / ▶▶)ボタン

前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り/早戻しができます。

開閉ボタン(⏏)

ディスクトレーを開閉します。

停止ボタン(■)

ディスクの再生を停止します。

再生ボタン(▶)

ディスクを再生します。

一時停止ボタン(❚❚)

ディスクの再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

I USB

削除ボタン(ERASE)

USBメモリーからファイルを削除するのに使います。(33ページ)

スキップ(⏮ / ⏭)/サーチ(◀◀ / ▶▶)ボタン

前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り/早戻しができます。

録音ボタン(RECORD ●)

USBメモリーに録音をするときに使います。一度押すと録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始します。(31ページ)
録音中に押すと、そこで録音ファイルが分割されます。(32ページ)

停止ボタン(■)

USBメモリーの再生を停止します。
また、USBメモリーへの録音を停止するのに使います。

再生ボタン(▶)

USBメモリーを再生します。
USBの録音待機状態のときに押すと、録音を開始します。

一時停止ボタン(❚❚)

USBメモリーの再生/録音を一時停止します。もう一度押すと再生/録音を再開します。

J **TAPE**

停止ボタン(■)

カセットテープの再生を停止します。
また、カセットテープへの録音を停止するのに使います。

一時停止ボタン(❚❚)

カセットテープの再生/録音を一時停止します。
もう一度押すと再生/録音を再開します。

早送り/巻戻しボタン(◀◀/▶▶)

カセットテープの早送り/巻戻しに使います。

再生ボタン(フォワード▶/リバース◀)

カセットテープを再生します。
カセットテープの再生/録音の一時停止状態のときに押すと、再生/録音を再開します。

録音ボタン(RECORD ●)

カセットテープに録音をするときに使います。一度押すと録音録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始します。(34ページ)

カウンターリセットボタン(COUNTER RESET)

ディスプレーのテープカウンターを「0000」にリセットします。

K **録音レベル調節ボタン(– REC LEVEL +)**

録音レベルの調節に使います。

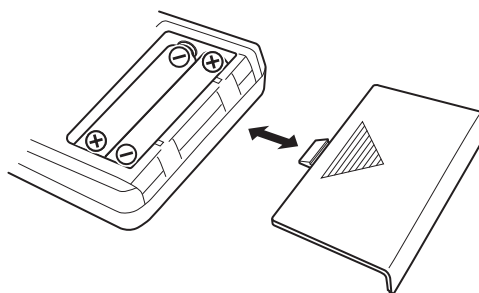
リモコンの使い方

使用上の注意

⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させせることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

ディスプレー

CDモード

再生中

オーディオCD

再生中の曲の経過時間 (分/秒)

再生中の曲番

MP3ディスク

再生中のファイル番号
(フォルダーごとに「001」から始まります)

再生中のフォルダー番号

再生中のファイルの経過時間
(分/秒)

再生中のファイル名
(長い場合はスクロール表示します)

停止中

オーディオCD

総再生時間

総曲数

MP3ディスク

総ファイル数

総フォルダー数

TAPEモード

テープカウンター

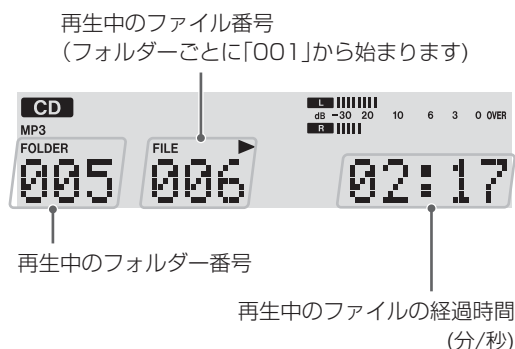
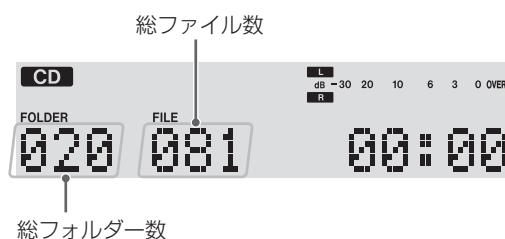
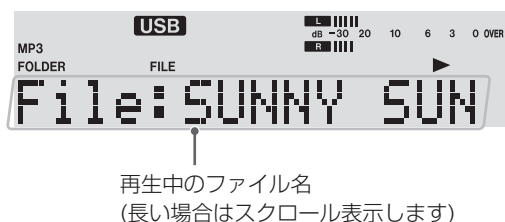
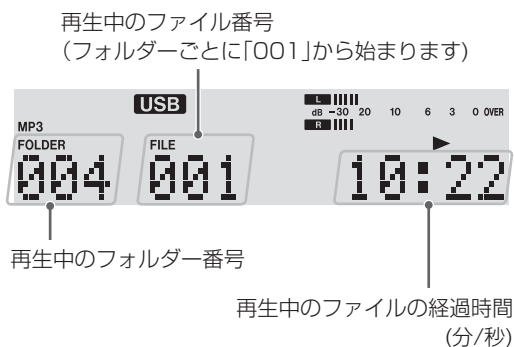
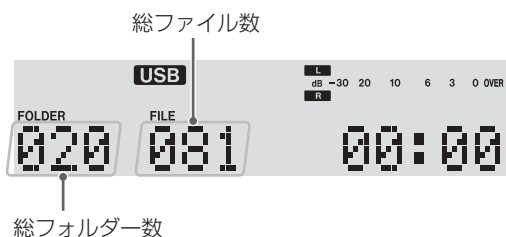
USBモード

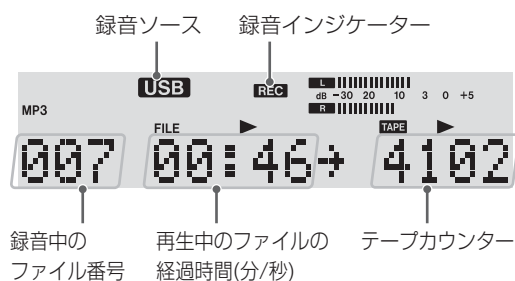
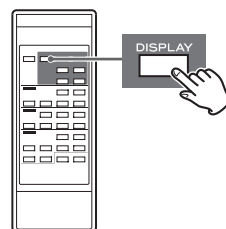
再生中

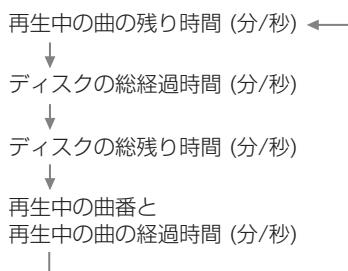
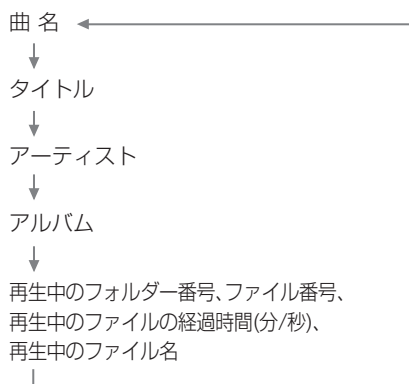
再生中のファイル番号
(フォルダーごとに「001」から始まります)

再生中のフォルダー番号

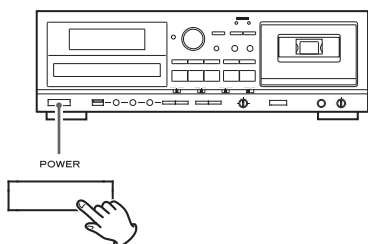
再生中のファイルの経過時間
(分/秒)

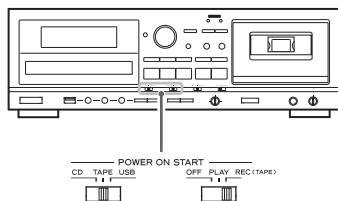
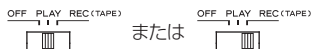
再生中のファイル名
(長い場合はスクロール表示します)

停止中

録音中

(例: USBメモリーからカセットテープに録音中)

ディスプレーの切換(CD/USBモード)

CDモード、またはUSBモードの再生中にディスプレーボタン(DISPLAY)を押すたびに、以下のようにディスプレーの表示が変わります。

オーディオCD

MP3ディスク/USBメモリー

- 該当する情報がないときは、「No title (タイトルなし)」、「No album (アルバムなし)」、または「No artist (アーティストなし)」が表示されます。
- ファイル情報を読み取れないときは、「****」と表示されます。
- 本機のディスプレーでは1バイトの半角英数字しか正しく表示できません。2バイト文字(日本語・中国語・韓国語など)や、半角カタカナなどの英数字以外の1バイト文字が使われいる場合、再生は可能ですがディスプレーには、「****」と表示されます。

基本操作

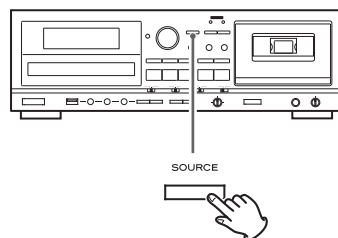
電源のオン/オフ

電源をオン/オフするには、電源ボタン(POWER)を押します。
電源がオンになっているときは、ディスプレーが点灯します。

電源をオンにするときは、タイマー設定スイッチ(POWER ON START OFF-PLAY-REC (TAPE))の位置を確認してください。このスイッチの位置によって、動作が違ってきます。

電源オン時に、タイマー設定スイッチ(OFF-PLAY-REC)が「PLAY」または「REC」になっている場合

ソース設定スイッチ(CD-TAPE-USB)で設定されている入力ソースが再生/録音されます。
タイマー録音では、カセットテープへのみ録音できます。(36ページ)

電源オン時に、タイマー設定スイッチ(OFF-PLAY-REC)が「OFF」になっている場合

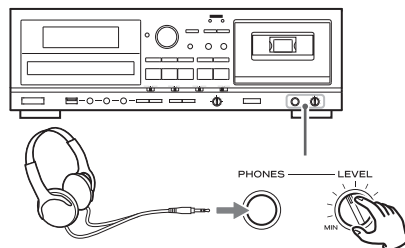
ソース設定スイッチ(CD-TAPE-USB)で設定されている入力ソースのモードで電源がオンになります。

- タイマーを使わないときは、大切なカセットテープに誤って上書き録音しないように、必ずタイマー設定スイッチ(OFF-PLAY-REC)をOFF(オフ)の位置にしておいてください。

入力ソースの切換

入力切換ボタン(SOURCE)を押すたびに、以下のようにモードが切り替わります。

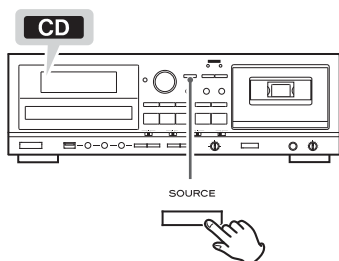
現在のソースは、ディスプレーの左上に表示されます。

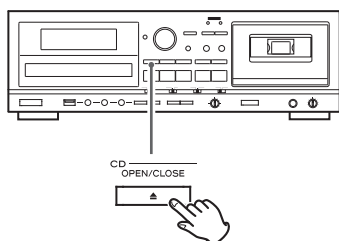
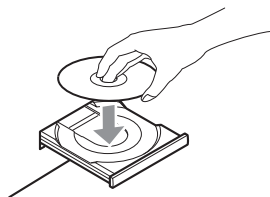
- 録音中はソースの切替えはできません。
- それぞれのソースの再生ボタン(▶)を押すと、そのソースのモードに切り替わり、再生が始まります。
- 外部接続した機器を使うには、「LINE」を選んでください。

ヘッドホンで聴くには

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからヘッドホンプラグ(ステレオ標準プラグ)をヘッドホン端子(PHONES)に差し込み、レベルつまみ(LEVEL)で徐々に音量を調節してください。

⚠ **必ず音量を下げてからヘッドホンプラグを差し込み、ヘッドホンを着けるようにしてください。また、ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン/オフや、ヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。**

ディスクを聴くには

1 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、CDモードを選ぶ。

● 他のモードのときにCD再生ボタン(▶)を押すと、自動的にCDモードに切り替わり、ディスクがセットされているときは再生を始めます。

2 CD開閉ボタン(⏏)を押して、ディスクトレーを開ける。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。

● ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

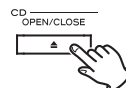
注 意

● 2枚以上のディスクをセットしないでください。

● トレーの開閉動作中は、手で無理やり開け閉めしないでください。

● ディスクにはセロハンテープやシール、ラベルなどを貼らないでください

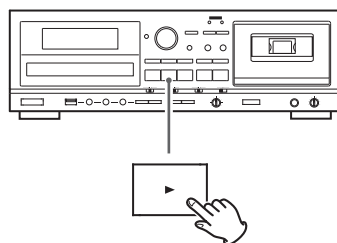
● ハート形や八角形など特殊形状のCDは使用しないでください。

4 開閉ボタン(⏏)を押して、トレーを閉める。

⚠ **注 意**

指をはさまないよう、ご注意ください。

ディスクの読込みには数秒かかります。
読込み中は「READING」と表示され、ボタンを押しても機能しません。
読み込みが終了すると以下のように表示されます。
ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

● ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」と表示されます。

5 CD再生ボタン(▶)を押して、再生を始める。

1曲目から再生が始まります。

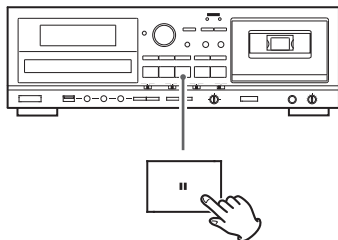
● ディスクをのせたあと、CD開閉ボタン(⏏)を押さずに(トレーを閉めずに)CD再生ボタン(▶)を押すと、自動的にトレーが閉じてディスクの再生が始まります。

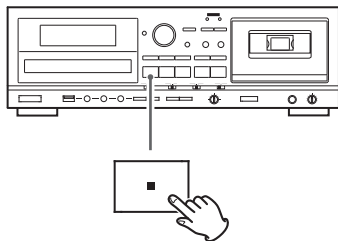
● 全ての曲の再生が終わると停止します。

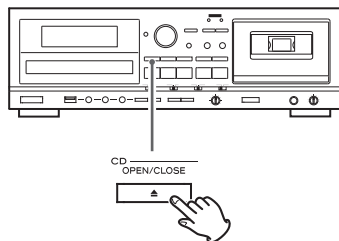
● フォルダーに入っていないMP3ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダーに入れられます。再生は「ROOT」フォルダーの1曲目から始まります。

● MP3ディスクの再生順については39ページをご覧ください。

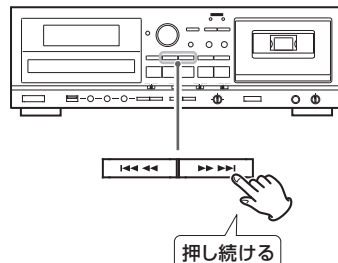
ディスクを聴くには(続き)

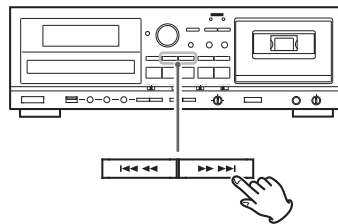
再生を一時停止するには

CD一時停止ボタン(▮▮)を押すと再生が一時停止します。再びCD一時停止ボタン(▮▮)を押すか、またはCD再生ボタン(▶)を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

再生を停止するには

CD停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

ディスクを取り出すには

CD開閉ボタン(⏏)を押すと、ディスクトレーが開きます。

● CDモード以外のときでも、開くことができます。

聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にCDサーチボタン(◀◀/▶▶)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

聴きたい曲を探すには(スキップ)

再生中
CDスキップボタン(⏮/⏭)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

● 再生中は、⏮を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮を続けて押してください。

停止中または一時停止中
CDスキップボタン(⏮/⏭)を押して聴きたい曲を選んだ後、CD再生ボタン(▶)またはCD一時停止ボタン(▮▮)を押して再生を始めてください。

フォルダーを選ぶには(MP3ディスク)

フォルダーを選ぶには、フォルダーボタン(∨ FOLDER ∧)を使います。
CD再生ボタン(►)を押すと再生が始まります。

CD USB

シャッフル再生

この機能はCDモードとUSBモードで使えます。

シャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、シャッフル再生モードになり、CD/USBメモリーの全曲がランダムに再生されます。

シャッフルボタン(SHUFFLE)を押すたびに、シャッフル再生モードのオン/オフが切り替わります。

シャッフル再生中は、ディスプレーに「SHUFFLE」と表示されます。

全ての曲を再生すると、シャッフル再生モードを解除して停止します。

シャッフル再生を中止するには、CD/USB停止ボタン(■)を押します。

- シャッフル再生中に ►►I ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
シャッフル再生中は、再生が終わった曲には戻れません。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。
- 以下のボタンを押すと、シャッフル再生モードは解除されます。

CDモード
電源ボタン(POWER)、入力切替ボタン(SOURCE)、CD開閉ボタン(⏏)、リピートボタン(REPEAT)、シャッフルボタン(SHUFFLE)

USBモード
電源ボタン(POWER)、入力切替ボタン(SOURCE)、リピートボタン(REPEAT)、シャッフルボタン(SHUFFLE)

CD USB

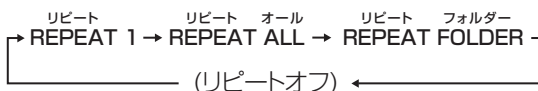
リピート再生

この機能はCDモードとUSBモードで使えます。

リピートボタン(REPEAT)を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

オーディオCD

MP3ディスク

REPEAT 1 → REPEAT ALL → REPEAT FOLDER
(リピートオフ)

- 以下のボタンを押すとリピートモードは解除されます。

CDモード

電源ボタン(POWER)、入力切替ボタン(SOURCE)、CD開閉ボタン(⏏)、リピートボタン(REPEAT)、シャッフルボタン(SHUFFLE)

USBモード

電源ボタン(POWER)、入力切替ボタン(SOURCE)、リピートボタン(REPEAT)、シャッフルボタン(SHUFFLE)

REPEAT 1(1曲リピート)

再生中の曲をくり返し再生します。
ディスプレーに「REPEAT 1」と表示されます。

- 1曲リピート再生中にCD/USBスキップボタン(⏮または⏭)を使って他の曲を選んだ場合は、その曲をくり返し再生します。
- 停止中は、リピートボタン(REPEAT)を押してからCD/USBスキップボタン(⏮/⏭)で曲を選び、CD/USB再生ボタン(▶)、またはCD/USB一時停止ボタン(⏸)を押すと、1曲リピート再生を始めます。

REPEAT ALL(全曲リピート)

全曲をくり返し再生します。
ディスプレーに「REPEAT ALL」と表示されます。

- プログラム再生中は、プログラムした曲をくり返し再生します。

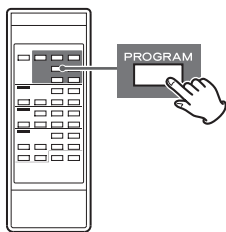
REPEAT FOLDER(フォルダーリピート)
(MP3ディスクのみ)

選択中のフォルダーの全曲をくり返し再生します。
ディスプレーに「REPEAT FOLDER」と表示されます。

プログラム再生

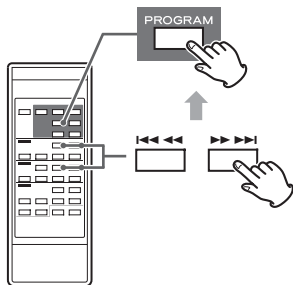
この機能はCDモードとUSBモードで使えます。

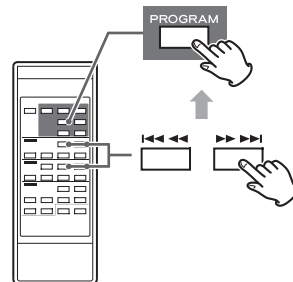
ディスクの中から、再生したい順番に30曲までプログラムすることができます。

1 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。

ディスプレーに「PROGRAM」が点滅し、「P-01」と表示されます。

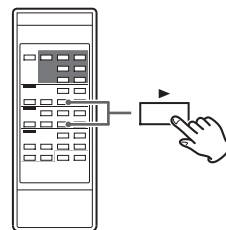
CDモードのときのプログラム例：

- プログラムを中止するには、CD/USB停止ボタン(■)を押します。

2 (MP3ファイルのプログラムの場合) CD/USBスキップボタン(⏮◀◀ または ▶▶⏭)を押してフォルダーを選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

- フォルダーに入っていないMP3ファイルは、「ROOT」フォルダーに入っています。

3 CD/USBスキップボタン(⏮◀◀ または ▶▶⏭)を押して曲を選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

選択した曲番またはファイルがプログラムされ、「P-02」が表示されます。

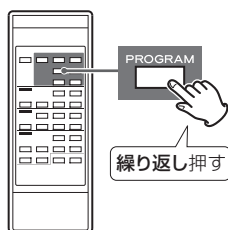
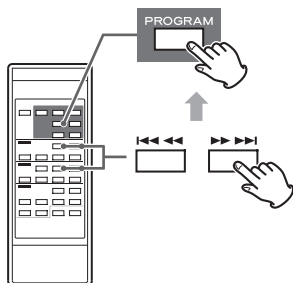
- 複数の曲をプログラムするには、2～3の手順を繰り返してください。
- 30曲までプログラムすることができます。
- プログラムを中止するには、CD/USB停止ボタン(■)を押します。
  このとき、プログラムされた内容は残っていますので、プログラムボタン(PROGRAM)を押してから、CD/USB再生ボタン(▶)を押すと、プログラム再生することができます。

4 プログラムが終わったら、CD/USB再生ボタン(▶)を押してプログラム再生を始める。

プログラムを停止するには、CD/USB停止ボタン(■)を押します。

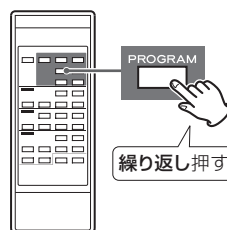
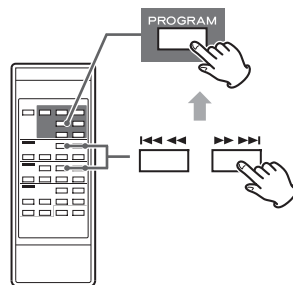
- プログラム再生が終了した後に、再びプログラム再生をするには、CD/USB再生ボタン(▶)を押します。
- プログラム再生中にCD/USBスキップボタン(⏮◀◀ または ▶▶⏭)を押して、プログラム中の他の曲を選ぶことができます。
- プログラム再生中にシャッフル再生はできません。
- プログラム再生中にREPEAT（リピート） 1、REPEAT ALL（リピートオール）再生ができます。REPEAT ALL（リピートオール）ではプログラムした曲をくり返し再生します。

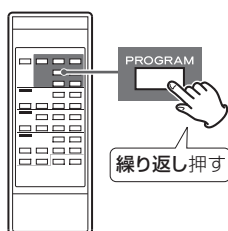
プログラム再生(続き)

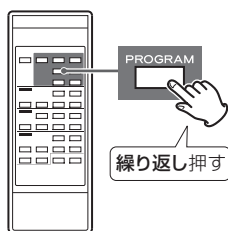
プログラムの最後に曲を追加するには

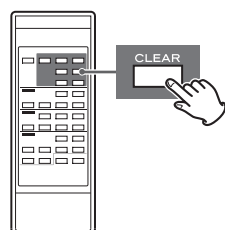
停止中に、**「TRACK 00」が表示されるまで**プログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押します。

CD/USBスキップボタン(⏮ または ⏭)で追加したい曲番を選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押します。

選択した曲番がプログラムの最後に追加されます。

プログラムの一部を書き換えるには

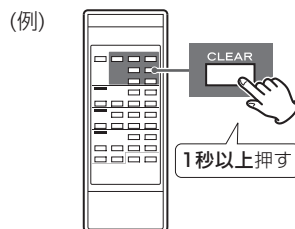
停止中に、**書き換えたい曲番が表示されるまで**プログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押します。

CD/USBスキップボタン(⏮ または ⏭)で新しく上書きしたい曲番を選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押します。

選択した曲番に書き換えられます。

プログラムの順番をチェックするには

停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押すたびに、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

プログラムの一部を消去するには

停止中に、**削除したい曲番が表示されるまで**プログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押します。

クリアボタン(CLEAR)を押します。

選択した曲番がプログラムから消去されます。

全てのプログラム内容を消去するには

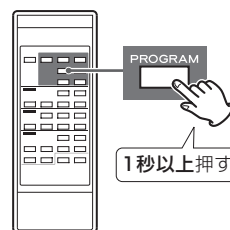
(例)

停止中に、プログラムボタン(PROGRAM)を押してから、クリアボタン(CLEAR)またはCD/USB停止ボタン(■)を1秒以上押してください。
ディスプレーの「PROGRAM(プログラム)」インジケーターが消え、全てのプログラム内容が消去されます。

- 「PROGRAM(プログラム)」インジケーターが表示されていないときは、プログラムボタン(PROGRAM)を押して、プログラムモードに切り換えてから消去してください。

- 以下のボタンを押しても、全てのプログラム内容が消去されます。

CDモード
電源ボタン(POWER)、CD開閉ボタン(⏏)
入力切換ボタン(SOURCE)

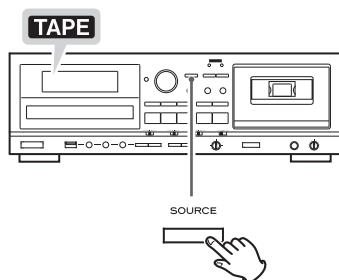
USBモード
電源ボタン(POWER)、入力切換ボタン(SOURCE)

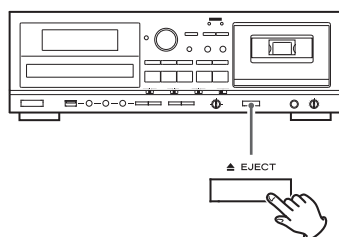
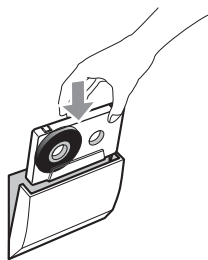
プログラムモードをやめるには

停止中に、プログラムボタン(PROGRAM)を1秒以上押し続けます。「PROGRAM(プログラム)」インジケーターが消えて通常のモードに戻ります。

- この操作ではプログラム内容は消去されません。プログラムボタン(PROGRAM)を押してから、CD/USB再生ボタン(▶)を押すと、プログラム再生することができます。

カセットテープを聴くには

本機では、ノーマル(タイプ I)、クローム(タイプ II)、またはメタル(タイプ IV)のテープを再生することができます。

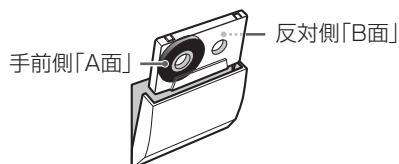
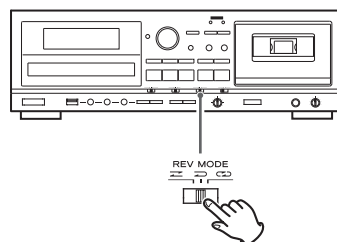
1 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、TAPEモードを選ぶ。

● 他のモードのときにカセットテープの再生を始めると、自動的にTAPEモードに切り替わります。

2 TAPE開ボタン(⏏ EJECT)を押して、カセットホルダーを開ける。

3 カセットを入れる。

テープが露出している部分を下に、再生したい面を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

注 意

● 変形したり、たるんだりしたテープを使わないでください。
● カセットホルダーを開けるときは、手で無理やり開けないでください。
故障の原因となります。

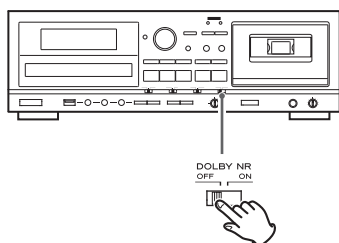
メ モ

この取扱説明書では、手前の面を「A面」、反対側の面を「B面」と呼びます。
「A面」と「B面」を裏返しにセットしたときは、「A面」を「B面」、「B面」を「A面」に読み替えてください。

4 リバースモードスイッチ(REV MODE)で、リバースモードを選ぶ。

3つのモードから選べます。

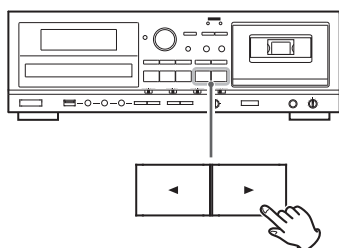
片面モード
片面のみの再生をします。

両面モード
両面を連続して再生します。
「A面」の最後まで再生すると、自動的にリバースし、引き続き「B面」を再生します。

リピートモード
両面を最長5回まで連続して再生します。

5 ドルビー NRのオン/オフを選ぶ。

ドルビー NRで録音されたテープを再生するときは、DOLBY NRスイッチをオンにしてください。
ドルビー NRを使わずに録音されたテープを再生するときは、オフにしてください。

ドルビー NR(ノイズリダクション)システムについて
ドルビー NRシステムは、再生/録音時に発生する"シー"というテープノイズを低減します。本機はBタイプのドルビー NRシステムを内蔵しています。

6 TAPE再生ボタン(フォワード ▶/リバース ◀)を押して再生を始める。

フォワードボタン(▶)
このボタンを押すと、「A面」の再生が始まります。

リバースモードがのとき
「A面」の最後まで再生し、停止します。

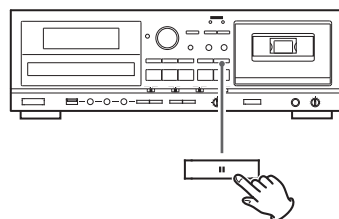
リバースモードがのとき
引き続き「B面」の最後まで再生し、停止します。

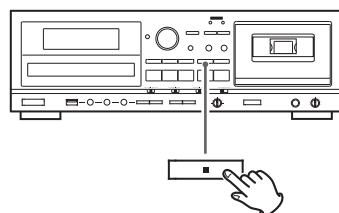
リバースモードがのとき
両面を5回繰り返し再生します。

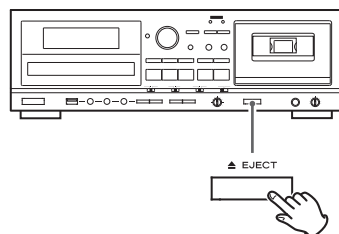
リバースボタン(◀)
このボタンを押すと、「B面」の再生が始まります。

リバースモードが、またはのとき
「B面」の最後まで再生し、停止します。

リバースモードがのとき
「B面」を再生した後、両面を4回繰り返し再生します。

再生を一時停止するには

TAPE一時停止ボタン(❚❚)を押すと再生が一時停止します。
再びTAPE一時停止ボタン(❚❚)を押すか、またはTAPE再生ボタン(フォワード ▶/リバース ◀)を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

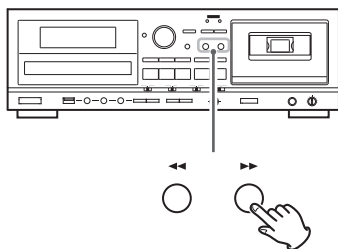
再生を停止するには

TAPE停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

カセットテープを取り出すには

カセットテープが停止中、または一時停止中に、TAPE開ボタン(▲ EJECT)を押してカセットホルダーを開き、取り出します。

● TAPEモード以外のときでも、カセットホルダーを開くことができます。

テープ

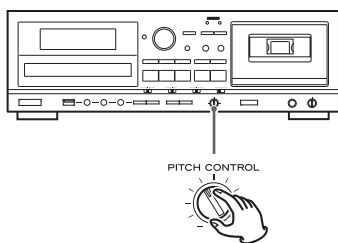
カセットテープを聴くには(続き)

早送り/巻戻しするには

早送りボタン(►►)、巻戻しボタン(◄◄)を押します。

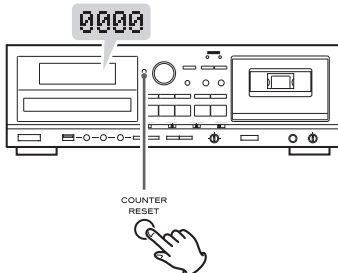
テープの最後まで早送り/巻戻しすると、停止します。途中で止めたいときは、TAPE停止ボタン(■)を押します。

● CD/USB/LINEモードのときでも早送り/巻戻しできますが、録音中はできません。

ピッチコントロール

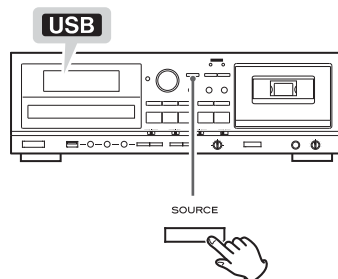
カセットテープの再生時にピッチ(音程)を変えることができます。

ピッチコントロールつまみを右に回すと、テープ走行速度が最大10%まで速くなり、音程が上がります。
左に回すと、テープ走行速度が最大10%遅くなり、音程が下がります。

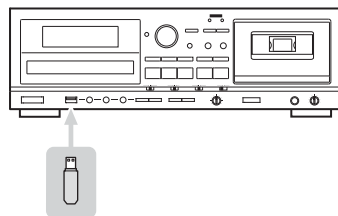
● 録音中はこの操作はできません。

テープカウンター

カウンターリセットボタン(COUNTER RESET)を押すと、テープカウンターが"0000"にリセットされます。
テープの特定の位置を見つけるのに便利な機能です。

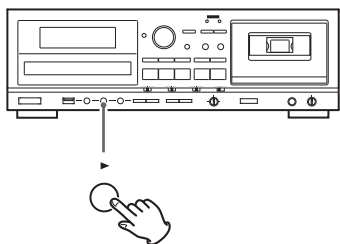
USBメモリーを聴くには

⚠ 注 意
USBメモリーのアクセス中(読込み、再生、録音、またはファイルの消去中など)には、絶対に電源をオフにしたり、USBメモリーを抜いたりしないでください。
本機やUSBメモリーの故障の原因になります。

1 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、USBモードを選ぶ。

● 他のモードのときにUSBメモリーの再生を始めると、自動的にUSBモードに切り替わります。

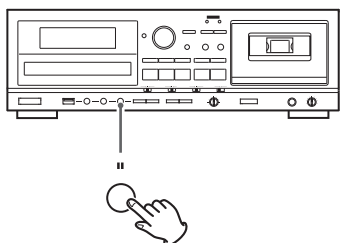
2 本機のUSBポートに、USBメモリーを接続する。

USBメモリーの読込みには、数秒かかります。

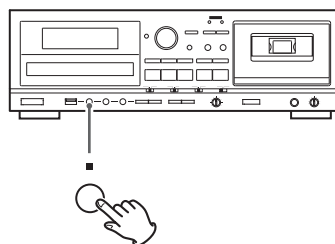
● USBメモリーにMP3ファイルが記録されていない場合は、「NO MUSIC FILE(ミュージックファイルなし)」と表示されます。

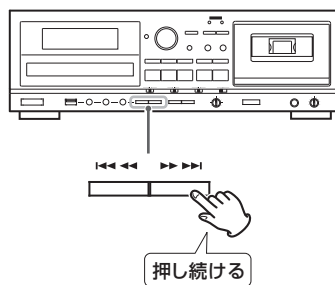
3 USB再生ボタン(▶)を押して、再生を始める。

● 全ての曲の再生が終わると停止します。

● フォルダーに入っていないMP3ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダーに入れられます。再生は「ROOT」フォルダーの1曲目から始まります。

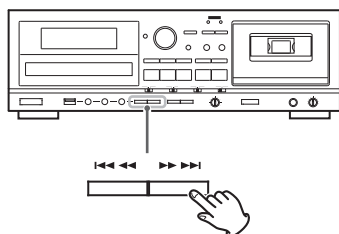
● MP3ファイルの再生順については39ページをご覧ください。

再生を一時停止するには

USB一時停止ボタン(❚❚)を押すと再生が一時停止します。
再びUSB一時停止ボタン(❚❚)を押すか、またはUSB再生ボタン(▶)を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

再生を停止するには

USB停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にUSBサーチボタン(◀◀/▶▶)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。押し続けると、サーチのスピードが変わります。
聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

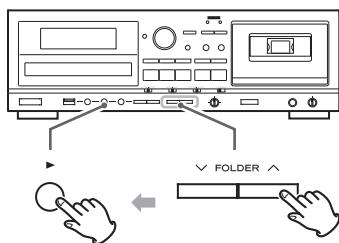
USBメモリーを聴くには(続き)

聴きたい曲を探すには(スキップ)

再生中

USBスキップボタン(⏮◀◀ / ▶▶⏭)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

- 再生中は、⏮◀◀を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮◀◀を続けて押してください。

停止中または一時停止中

USBスキップボタン(⏮◀◀ / ▶▶⏭)を押して聴きたい曲を選んだ後、USB再生ボタン(▶)またはUSB一時停止ボタン(❚❚)を押して再生を始めてください。

フォルダーを選ぶには

フォルダーを選ぶには、フォルダーボタン(∨ FOLDER ∧)を使います。
USB再生ボタン(▶)を押すと再生が始まります。

リピート、シャッフル、プログラム再生

USBモードでは、リピート、シャッフル、プログラム再生ができます。以下のページをご覧ください。

リピート再生 ➡ 22ページ
シャッフル再生 ➡ 21ページ
プログラム再生 ➡ 23ページ

USBメモリーに録音するには

本機では、CDやカセットテープ、接続した外部入力機器の音声をMP3形式にして、USBメモリーに録音することができます。

- 本機にはカセットテープへの録音機能もありますが、USBとカセットテープに同時に録音をすることはできません。
- タイマー録音では、USBへの録音はできません。

⚠ 注 意

USBメモリーの録音中には、絶対に電源をオフにしたり、USBメモリーを抜いたりしないでください。
本機やUSBメモリーの故障の原因になります。

録音されるMP3ファイルについて

- 録音すると、「RECORD」フォルダと、その中にそれぞれのソースの名前のついたサブフォルダー(「CD」、「TAPE」、または「LINE」)が自動的に生成されます。
そのサブフォルダー中にMP3形式のファイルができます。

- ファイル名は、末尾に自動的に順番の数字が付けられ記録されます。

CDからの録音の場合

「CD001.MP3」、「CD002.MP3」......
(すでにUSBメモリーのフォルダーに「CD004.MP3」と「CD009.MP3」が記録されている場合、次に録音したときに記録されるファイル名は「CD010.MP3」となります)

カセットテープからの録音の場合

「T001.MP3」、「T002.MP3」......

外部入力機器からの録音の場合

「L001.MP3"」

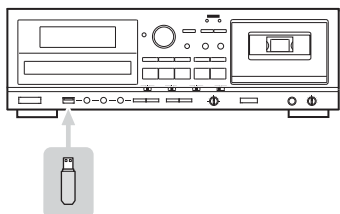
- テープと外部入力機器からの録音では、録音中に手動でファイルを分割することができます。(32ページ)
その場合のファイル名は、末尾の数字が繰り上がります。(例えば、「T001.MP3」を2つに分割したときは、「T001.MP3」と「T002.MP」になります)

- 本機では999ファイルまで記録することができます。ただし、USBメモリーにすでにファイルがある場合、そのファイル数と合わせて999ファイルまで録音可能です。

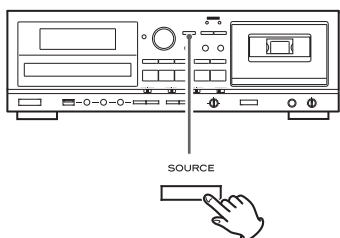
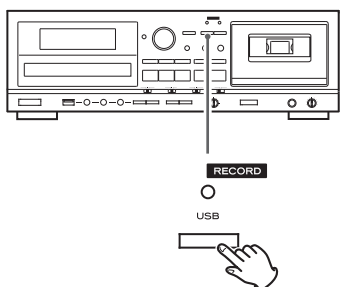
- 1つのファイルの録音時間は最長240分までです。240分を超えた場合は、新しいファイルが作成されます。新しいファイルの作成には数分かかります。

- MP3が記録されているCDからの録音は、最長3時間まで可能です。

- 本機では、ビットレートが128kbpsのMP3に変換してUSBメモリーに録音します。

1 本機のUSBポートに、USBメモリーを接続する。

- USBメモリーの空き容量がない場合や、USBメモリーがロックされている場合は録音できません。

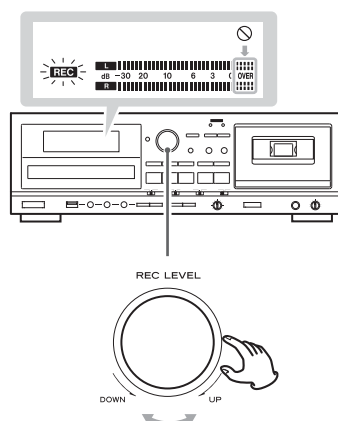
- 本機でUSBメモリーの容量を確認することはできません。録音の前に、あらかじめUSBメモリーの容量をパソコンで確認してください。

2 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、録音ソースを選ぶ。(CD、TAPE、またはLINE)

3 USB録音ボタン(RECORD USB)を押して、録音待機状態にする。

USB録音ボタン(RECORD USB)の上の赤いインジケーターと、ディスプレーの **REC** が点滅します。

- 録音を停止するには、USB停止ボタン(■)を押します。

4 (カセットテープ、または外部入力機器からの録音の場合) 録音レベルを調節する。

録音の前に、録音レベルを調節してください。これを行わないと、録音した音が歪んだり、雑音が入ってしまうことがあります。

1. 録音ソース(カセットテープ、または外部入力機器)を再生する。
2. 録音レベル調節つまみ(REC LEVEL)を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが「OVER」に達しないように調節します。

- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。

- CDからの録音では、録音レベルは調節できません。

5 録音ソースを準備する。

CDから録音する場合
ディスクの全ての曲を録音するときは停止状態にしておきます。
途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で一時停止状態にしておきます。
プログラムした順番での録音もできます。プログラム方法については23ページをご覧ください。

次のページに続きます ➡

USBメモリーに録音するには(続き)

カセットテープから録音する場合
テープの全ての内容を録音するときは、テープを始めの位置まで巻き戻しておきます。
途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で停止または一時停止状態にしておきます。

ドルビー NRのオン/オフを選びます。(10ページ)

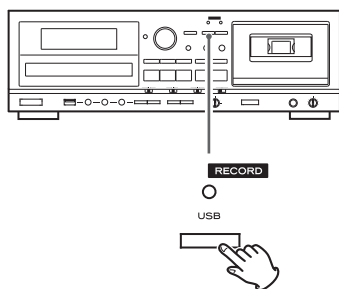
片面のみの録音の場合は、リバースモードを⇌にセットします。また、TAPE再生ボタン(フォワード ▶/リバース ◀)で録音開始の方向をセットし、TAPE停止ボタン(■)を押します。

両面の録音の場合は、リバースモードを⊐にセットします。また、TAPE再生ボタン(フォワード ▶)で録音開始の方向を▶にセットします。
録音開始の方向を◀にセットした場合、「B面」のみが録音されます。

外部入力機器から録音する場合
外部入力機器の再生を準備します。

例
アンプの入力ソースをセットする
プレーヤーのメディアをセットする
チューナーの選局をする

6 USB録音ボタン(RECORD USB)を押して、録音を開始する。

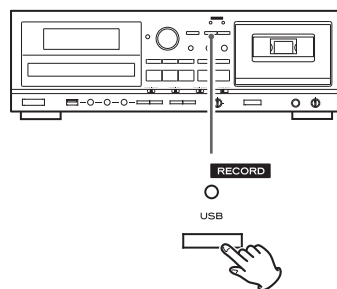
外部入力機器から録音する場合は、外部入力機器の再生も開始してください。

USB録音ボタン(RECORD USB)の上の赤いインジケーターと、ディスプレーの REC の点滅が止まります。

- 録音の途中でUSBメモリー空き容量がなくなると、録音は停止します。
- 録音を一時停止するには、USB一時停止ボタン(❚❚)を押します。もう一度押すと録音を再開します。

CDまたはカセットテープから録音する場合
ソースの再生が終わると、録音は自動的に停止します。
録音を途中で停止するには、USB停止ボタン(■)を押します。この場合録音ソースの再生も停止します。

外部入力機器から録音する場合
ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。USB停止ボタン(■)を押して録音を停止してください。

手動ファイル分割

テープとLINEからの録音中には、録音するMP3ファイルを、手動で分割することができます。
CDからの録音では、分割はできません。(CDからの録音は自動的にトラックごとに分割されます)

録音中に、分割したいところでUSB録音ボタン(RECORD USB)を押すと、録音中のファイルが分割されます。
ファイル分割は10数秒かかります。

カセットテープからの録音の場合
ファイル分割の間、カセットテープが止まりますが、録音の途切れはほとんど生じません。

外部入力機器からの録音の場合
ファイル分割の間、録音が途切れます。

- すでに録音されているMP3ファイルを分割することはできません。この機能は録音中にのみ使うことができます。
- 分割したファイル名は、末尾の数字が繰り上がります。

例
「T001.MP3」を2つに分割したときは、「T001.MP3」と「T002.MP3」となります。

USBメモリーからファイルを消去するには

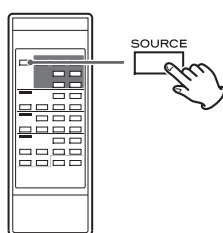
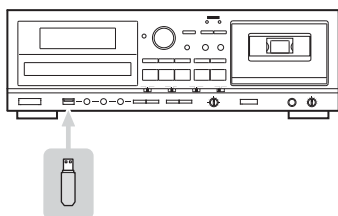
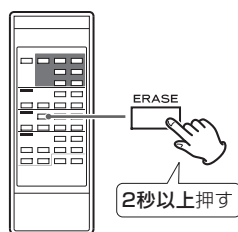
⚠ 注 意

USBメモリーのファイルの消去中には、絶対に電源をオフにしたり、USBメモリーを抜いたりしないでください。
本機やUSBメモリーの故障の原因になります。

全てのファイルを消去するには

⚠ 注 意

この操作をすると、USBメモリーから全ての内容が消去されます。また、音楽ファイル以外のファイルも消去されます。
操作の前に消去してよいかを確認してください。

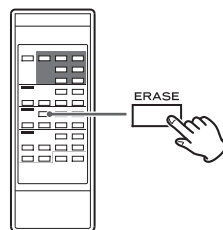
1 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、USBモードを選ぶ。

2 本機のUSBポートに、USBメモリーを接続する。

3 消去ボタン(ERASE)を2秒以上押す。

ディスプレーに「Erase all?(全て消去?)」と表示されます。

4 6秒以内に消去ボタン(ERASE)を押す。

USBメモリーから全ての記録されていた内容が消去されます。
ディスプレーに「NO MUSIC FILE」と表示されます。

ファイルを１つずつ消去するには

1 消去したいファイルを再生する。(28ページ)

2 消去ボタン(ERASE)押す。

ディスプレーに「Erase file?(ファイルを消去?)」と表示されます。

3 6秒以内に消去ボタン(ERASE)を押す。

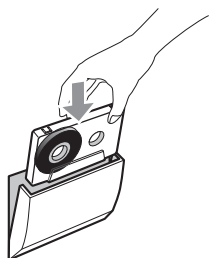
ディスプレーにErasing」と表示されます。
再生中のファイルが消去され、再生が停止します。

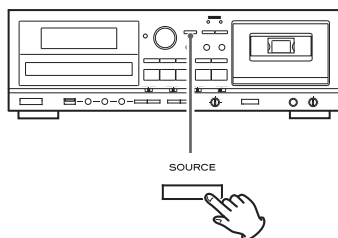
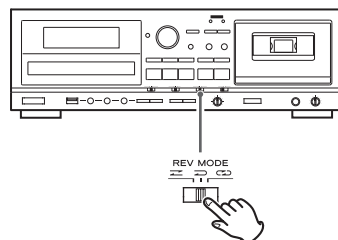
CD USB LINE → TAPE

カセットテープに録音するには

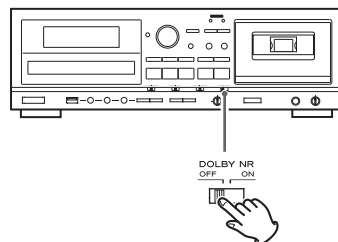
本機では、CDやUSBメモリー、または接続した外部入力機器の音声をカセットテープに録音することができます。ノーマル(タイプ I)、またはクローム(タイプ II)のテープに録音することができます。メタル(タイプ IV)には本機では録音できません。

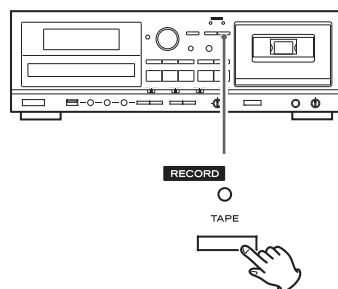
- 片面のみの録音、または両面の録音ができます。
- 本機にはUSBメモリーへの録音機能もありますが、カセットテープとUSBに同時に録音をすることはできません。

1 カセットホルダーにカセットテープを入れる。

- 誤消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

2 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、録音ソースを選ぶ。(CD、USB、またはLINE)

3 リバースモードスイッチ(REV MODE)でリバースモードを選び、録音開始の方向を選ぶ。

片面のみに録音の場合は、リバースモードを⇄にセットします。また、TAPE再生ボタン(フォワード ▶/リバース ◀)で録音開始の方向をセットし、TAPE停止ボタン(■)を押します。

両面への録音の場合は、リバースモードを⊐にセットします。また、TAPE再生ボタン(フォワード ▶)で録音開始の方向を▶にセットします。
録音開始の方向を◀にセットした場合、「B面」のみに録音されます。

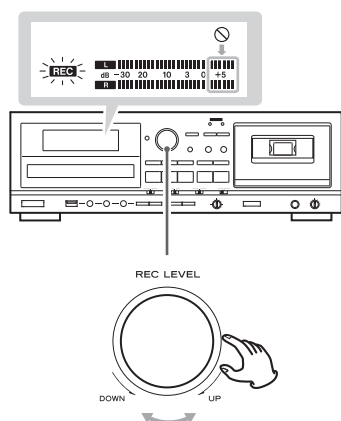
4 ドルビー NRのオン/オフを選ぶ。

ドルビー NRについては、10ページをご覧ください。

5 テープ録音ボタン(RECORD TAPE)を押して、録音待機状態にする。

テープ録音ボタン(RECORD TAPE)の上の赤いインジケーターと、ディスプレーの REC が点滅します。

- 録音を停止するには、TAPE停止ボタン(■)を押します。

6 録音レベルを調節する。

録音の前に、録音レベルを調節してください。これを行わないと、録音した音が歪んだり、雑音が入ってしまうことがあります。

1. 録音ソースを再生する。
2. 録音レベル調節つまみ(REC LEVEL)を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節します。

● 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。

7 録音ソースを準備する。

CDから録音する場合

ディスクの全ての曲を録音するときは停止状態にしておきます。
途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で一時停止状態にしておきます。
プログラムした順番での録音もできます。プログラム方法については23ページをご覧ください。

USBメモリーから録音する場合

USBメモリーの全ての曲を録音するときは、最初の曲の頭で停止状態にしておきます。
途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で一時停止状態にしておきます。
プログラムした順番での録音もできます。プログラム方法については23ページをご覧ください。

● MP3ファイルの再生順については39ページをご覧ください。

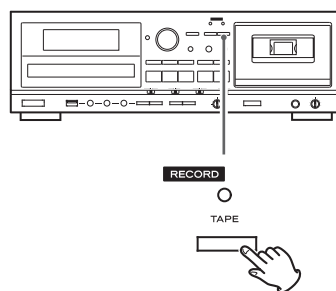
外部入力機器から録音する場合

外部入力機器の再生を準備します。

例

アンプの入力ソースをセットする
プレーヤーのメディアをセットする
チューナーの選局をする

8 テープ録音ボタン(RECORD TAPE)を押して、録音を開始する。

外部入力機器から録音する場合は、外部入力機器の再生も開始してください。

テープ録音ボタン(RECORD TAPE)の上の赤いインジケーターと、ディスプレーの REC の点滅が止まります。

⚠ 注 意

録音中には、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。
本機や接続した機器の故障の原因になります。

● 録音を一時停止するには、TAPE一時停止ボタン(❚❚)を押します。もう一度押すと録音を再開します。

CDまたはUSBメモリーから録音する場合

ソースの再生が終わると、録音は自動的に停止します。
録音を途中で停止するには、TAPE停止ボタン(■)を押します。この場合録音ソースの再生も停止します。

両面への録音中に、曲の途中で「A面」が終わった場合は、録音途中の曲の頭に戻って「B面」に録音を始めます。

外部入力機器から録音する場合

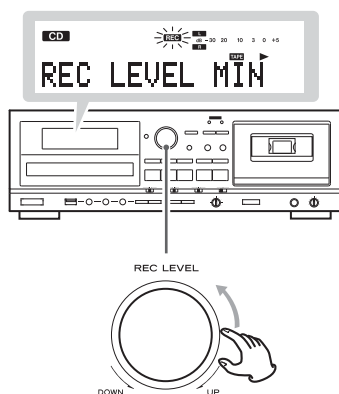
ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。TAPE停止ボタン(■)を押して録音を停止してください。

カセットテープに録音するには(続き)

録音を消去するには

録音すると、以前カセットテープに録音されていた内容は上書きされます。
録音レベルを最小(MIN)にして録音をすることによって、録音内容を消去することができます。

1 テープ録音ボタン(RECORD TAPE)を押して、録音待機状態にする。

2 録音レベル調節つまみ(REC LEVEL)を最小(MIN)に合わせる。

3 TAPE再生ボタン(フォワード ▶/リバース ◀)を押して、消去を開始する。

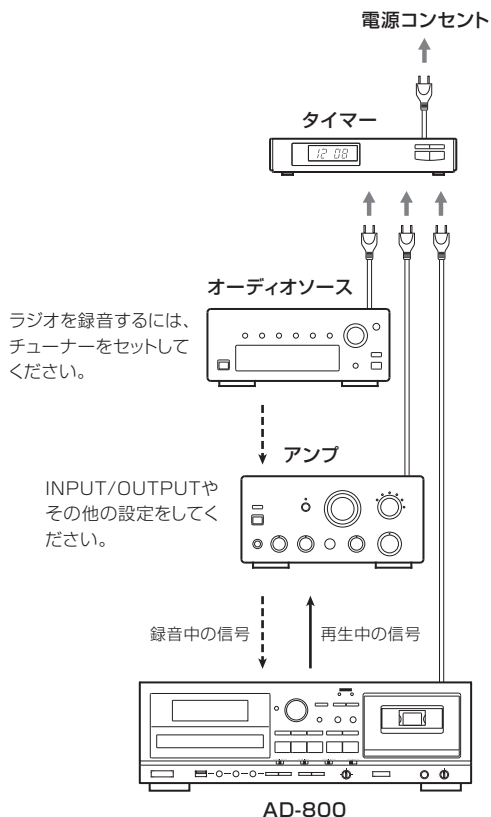
タイマー再生/録音

市販のオーディオタイマーを接続して、設定した時間に再生や録音を開始することができます。

- タイマー再生のソースは、CD、カセットテープ、USBメモリーのみです。外部接続機器をタイマー再生することはできません。

- タイマー録音のソースは、外部接続機器のみです。また、カセットテープにのみ録音できます。

接 続

下図を参考に、機器を接続してください。

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

タイマー再生(CD USB TAPE)

- タイマー再生のソースは、CD、カセットテープ、USBメモリーのみです。外部接続機器をタイマー再生することはできません。

1 前のページの接続図を参考にして、AD-800と機器を市販のオーディオタイマーに接続する。

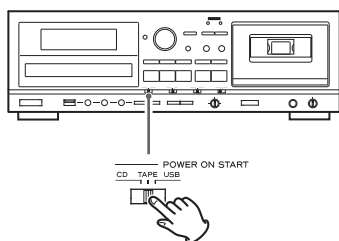
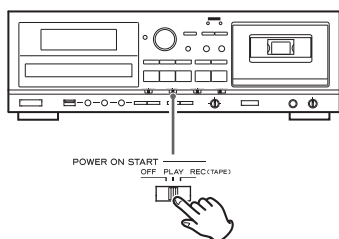
2 全ての機器の電源をオンにする。

3 タイマー再生したいソースをセットする。

カセットテープをセットする場合
リバースモードをセットします。両面を連続して再生したい場合は、⊂⊃にセットします。

DOLBY(ドルビー) NRスイッチをセットします。(10ページ)

再生は常に「A面」から始まります。

4 ソース設定スイッチ(CD-TAPE-USB)を再生したいソースにセットする。

5 タイマー設定スイッチ(OFF-PLAY-REC)を「PLAY」にセットする。

AD-800のディスプレーに「TIMER」と表示されます。

6 オーディオタイマーのオン/オフの時間を設定する。

この設定を終了すると、接続したすべての機器の電源がオフになります。

このとき、AD-800の電源ボタン(POWER)を押さないでください。
ボタンは押されたままの状態(オンの位置)のままにしておいてください。オフの状態になっていると、タイマー再生は動作しません。

タイマーオンの時間になると、電源が接続した機器に供給され、再生が始まります。

- タイマーを使わないときは、タイマー設定スイッチ(OFF-PLAY-REC)をOFF(オフ)にセットしてください。

タイマー再生/録音(続き)

タイマー録音(LINE ➡ TAPE)

● タイマー録音のソースは、外部接続機器のみです。また、カセットテープにのみ録音できます。

(例: ラジオ放送のタイマー録音)

1 前のページの接続図を参考にして、AD-800と機器を市販のオーディオタイマーに接続する。

2 全ての機器の電源をオンにする。

3 タイマーで録音したいカセットテープをセットする。

常に「A面」から録音されます。

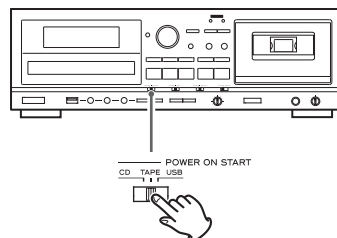
片面のみに録音の場合は、リバースモードを⇌にセットします。
両面への録音の場合は、リバースモードを⊐または⊂⊃にセットします。

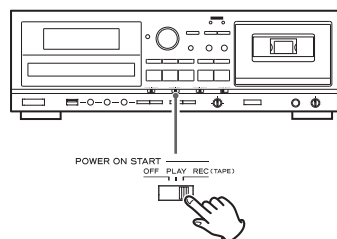
DOLBY(ドルビー) NRスイッチをセットします。(10ページ)

消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

ノーマル(タイプ I)、またはクローム(タイプ II)のテープに録音することができます。

ご注意
前回の使用の時、テープが「B面」の途中で終わっていると、録音は「A面」の途中から始まってしまいます。大切な録音を誤って消してしまわないようご注意ください。(特に、2回以上連続してタイマー録音する場合にご注意ください)

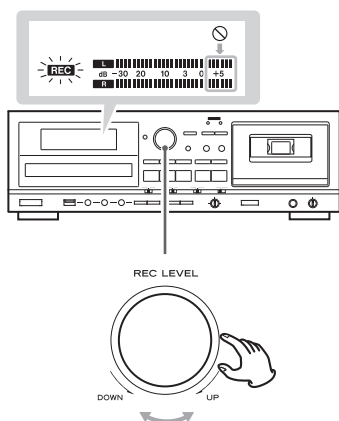
4 ソース設定スイッチ(CD-TAPE-USB)を「TAPE」にセットする。

●CDやUSBメモリーには録音できません。カセットテープにのみ録音できます。

5 タイマー設定スイッチ(OFF-PLAY-REC)を「REC」にセットする。

AD-800のディスプレーに「TIMER」と REC インジケーターが表示されます。

6 録音したい放送局を選局する。
(ラジオ放送の録音の場合)

7 録音レベルを調節する。

録音の前に、録音レベルを調節してください。これを行わないと、録音した音が歪んだり、雑音が入ってしまうことがあります。

録音レベル調節つまみ(REC LEVEL)を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節します。

8 オーディオタイマーのオン/オフの時間を設定する。

この設定を終了すると、接続したすべての機器の電源がオフになります。

このとき、AD-800の電源ボタン(POWER)を押さないでください。
ボタンは押されたままの状態(オンの位置)のままにしておいてください。オフの状態になっていると、タイマー録音は動作しません。

タイマーオンの時間になると、電源が接続した機器に供給され、録音が始まります。

● タイマーを使わないときは、大切なカセットテープに誤って上書き録音しないように、必ずタイマー設定スイッチ(OFF-PLAY-REC)をOFF(オフ)の位置にしておいてください。

MP3ディスクの再生順

MP3ファイルを収録したCDやUSBメモリーには、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3ファイルをフォルダーに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて1つのフォルダーに収めているものもあります。

本機でMP3ディスクを再生するときのフォルダー番号とファイルの再生順(1～9)の例

タイマー

その他

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

一般

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

リモコンで操作できない。

➡ 電源ボタン(POWER)を押して、本体の電源をオンにしてください。
➡ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
➡ リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

テレビなどが誤動作する。

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

ボタンを押しても反応しない。

➡ 動作中は、ボタンを押しても反応しないことがあります。しばらく待ってから再度ボタンを押してください。

音が出ない。または小さな音しか出ない。

➡ アンプとの接続を確認してください。
➡ スピーカーや他の機器との接続を確認してください。
➡ 接続した機器の操作が正しいか確認してください。
➡ スピーカーケーブルの⊕/⊖がショートしていないか確認してください。
➡ 入力切換ボタン(SOURCE)を押して、入力ソースを選んでください。

雑音がする。

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

CDプレーヤー

再生できない。

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。
➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは本機で再生できません。
➡ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて1、2時間放置してください。

音飛びがする。

➡ 震動を与えると音飛びする場合があります。本機は安定した場所に設置してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷が付いたり、ヒビが入っているディスクは使わないでください。

カセットテープ

カセットホルダーが閉まらない。

➡ カセットテープが正しくセットされていないと閉まりません。正しく入れ直してください。

音質が悪い。

➡ ヘッドをクリーニングしてください。(7ページ)
➡ ヘッドが帯磁している場合は、ヘッド・イレーサーで消磁してください。
➡ DOLBY(ドルビー) NRスイッチが、録音したときと同じ位置にあるか確認してください。

再生スピードが速い/遅い

➡ ピッチコントロールの設定を確認してください。(28ページ)

オートリバースしない

➡ リバースモードを⊐または⊂⊃にセットしてください。
➡ リバースモードが⊐に設定されているときは、再生は常に手前側(「A面」)から始まります。

録音できない。

➡ 消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

➡ 録音レベルを確認してください。(35ページ)

USBメモリー

USB再生ボタン(▶)を押しても、再生できない。

➡ USBメモリーにMP3ファイルが記録されているか確認してください。

➡ ファイルのフォーマットを確認してください。本機で再生できるのは、MP3ファイルです。MPEG 1 LAYER 2ファイルなどは再生できません。

録音できない。

➡ USBメモリーに空き容量があるか確認してください。

➡ USBメモリーがロックされていないか確認してください。

➡ 録音レベルを確認してください。(31ページ)

MP3

ファイル名が正しく表示されない。

➡ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)や、半角カタカナなどの英数字以外の1バイト文字が使われている場合、再生は可能ですが、ディスプレーに正しく表示できません。

曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。

➡ ファイルにID3タグが入っていません。パソコンなどでID3タグを編集したMP3ファイルを作成し直してください。本機で録音したファイルにはID3タグは記録されません。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

仕　様

CDプレーヤー部

ピックアップ . . . . .3ビーム、半導体レーザー
デジタルフィルター
8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター
周波数特性 . . . . .20Hz〜20kHz ±2dB
全高調波歪率 . . . . .0.02%以下(1kHz)
S/N比 . . . . 87dB以上(IHF-A)
アナログ出力 . . . . 2.0V(RCA)

カセットテープ部

トラック形式 . . . . 4トラック2チャンネル・ステレオ
ヘッド構成 . . . . .録音／再生ヘッド×1（回転リバース式）
消去ヘッド×1
テープタイプ カセットテープC-60
テープ速度 4.76cm/秒
モーター. DCサーボモーター×1
ピッチコントロール . . . . .約±10% (再生のみ)
ワウ・フラッター . . . . .0.25% (W.RMS)
周波数特性(総合) . . . .50 ～ 12,000Hz ±3dB：メタル
50 ～ 12,000Hz ±3dB：クローム
50 ～ 12,000Hz ±3dB：ノーマル
SN比(総合)
59dB（ドルビー NRオフ、3%THDレベルWTD）
69dB (ドルビー NRオン、5kHz以上）
早巻時間. . . . . 約120秒(C-60テープ)
ライン入力(RCA)
87mV（入力インピーダンス50kΩ以上）
ライン出力(RCA)
0.46V（負荷インピーダンス50kΩ以上）
ヘッドホン出力. 10mW/32Ω

USB

定格出力. . . . . 5V、0.2A
再生
　周波数特性. . . . . 20Hz ～ 20,000Hz(±2dB)
　S/N比 85dB以上
　再生ビットレート. . . . . .8〜320kbps
録音
　周波数特性. . . . . 20Hz ～ 15,000Hz(±2dB)
　S/N比 85dB以上
　録音ビットレート. .128kbps

一般

電源 . . . . .100V AC、50-60Hz
消費電力. 14W
外形寸法(幅、高さ、奥行)
435 x 145 x 288mm(突起部を含む)
質量 5.1kg
許容動作温度 . . . . ＋5℃～＋35℃
許容動作湿度 . . . . 5%～85% (結露のないこと)
許容保管温度 . . . . −20℃～＋55℃

付属品

　リモコン(RC-1257)×1
　リモコン用乾電池(単4)×2
　RCAオーディオケーブル×2
　取扱説明書(本書)×1
　簡単録音ガイド
　保証書×1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

40ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDプレーヤー /カセットデッキ AD-800
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　http://www.teac.co.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1110·MA-1545C